

(3) 市民参画と協働のまちづくり



市民参画推進施策

市民参画推進施策

市民活動パワーアップ講座実施事業

NEW!

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	110	0	0	0	110

平成17年度の「市民活動パワーアップ講座」の続編として、受講者によるワークショップから出た提案の実現（昔なつかしの遊びコーナー）と、受講者たちの実際に何かやってみたいという声により誕生した「ゴミ減量グループ」の活動（ゴミ減量実践講座）を支援し、市民の自主性と、市民活動の促進を図りました。

【事業の実施状況】

●昔なつかしの遊びコーナー

〔実施日〕平成18年5月28日(日)

〔場 所〕晴海第一公園

〔内 容〕おおたけ日曜市でシャボン玉や竹とんぼ作りなどのコーナーを設置

〔来場者〕約200人

●めざせ！3つ星 ゴミの達人 ゴミ減量実践講座（3回）

①「しっかり分別」 ゴミ分別の現状・RDF・ゴミ分別の達人をめざす

〔実施日〕平成19年3月17日(土)

〔場 所〕小方公民館

〔参加者〕14人

②「減らすとお得？」 生ゴミ減量の効果の試算と各手法の紹介・実践

〔実施日〕平成19年3月24日(土)

〔場 所〕総合市民会館

〔参加者〕20人

③「エコ・クッキング」 食生活改善推進員による生ゴミの出ない料理教室

〔実施日〕平成19年3月31日(土)

〔場 所〕総合市民会館

〔参加者〕16人

※「ゴミ減量グループ」は、平成19年度以降も自主的に活動を続けることを決定しています。

大竹まちづくり事業

《担当：企画財政課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	87	0	0	0	87
17年度	88	0	0	0	88
18年度	42	0	0	0	42

市民と協働して行うまちづくりを展開するため、平成17年度に引き続き、大竹市の取り組みに関する満足度・重要度アンケートを実施しました。

○大竹市の取り組みに関する満足度・重要度アンケート

調査地域	大竹市全域
調査内容	①回答者の属性 ②市が取り組む事業(21項目)に対する満足度・重要度 ③指定管理者制度の導入による各施設の変化について ④あなたにとって「個性あるまちづくり」とは(自由記述) ⑤岩国基地の再編問題についてどう考えているか(自由記述)
調査対象	大竹市在住の満18歳以上の男女 1,000人
抽出方法	大竹市における住民基本台帳法に基づく記載者及び外国人登録法に基づく登録者から年代別に、地区別人口比により無作為抽出
調査方法	調査用紙の発送・回収ともに郵送
調査期間	平成18年9月4日～9月30日
有効回答数	337件(男性142人, 女性180人, 性別不明15人)

※これらの集計結果と分析結果をまとめ報告書を作成し、希望者に配布するとともに、ホームページに掲載しました。

アンケート結果(満足度・重要度の上位・下位の3項目)

満足度

	1位	2位	3位
17年度	豊かな人生を創造する生涯学習の推進(72.4点)	国際交流・地域間交流の推進(71.0点)	一人ひとりを大切にする人権の尊重(70.5点)
18年度	国際交流・地域間交流の推進(69.8点)	豊かな人生を創造する生涯学習の推進(69.7点)	手と手をとるあうコミュニティ活動の推進(69.5点)
	19位	20位	21位
17年度	利便性の高い公共交通の整備(56.8点)	安全で快適な道路網の整備(55.0点)	健全な行財政の運営(54.7点)
18年度	安全で快適な道路網の整備(55.4点)	活気とふれあいのある商業・サービス業の振興(54.7点)	健全な行財政の運営(48.3点)

重要度

	1位	2位	3位
17年度	健康を支える医療体制の充実(92.7点)	こころを豊かにする社会福祉の充実(92.3点)	災害を防ぎ生命を守る救急・防災体制の充実(92.3点)
18年度	健康を支える医療体制の充実(94.6点)	こころを豊かにする社会福祉の充実(94.2点)	健全な行財政の運営(93.0点)
	19位	20位	21位
17年度	豊かな人生を創造する生涯学習の推進(77.9点)	手と手をとるあうコミュニティ活動の推進(72.4点)	国際交流・地域間交流の推進(72.3点)
18年度	利便性と高い公共交通の整備(74.1点)	連携と協調による広域行政の推進(73.2点)	国際交流・地域間交流の推進(71.0点)

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	1,208	0	0	0	1,208

市民に対し、より早くより分かりやすい形で多くの情報を提供し、情報の共有を推進するため、市ホームページのリニューアルを行いました。

【事業の実施状況】

大竹市のホームページを全てリニューアルしました。

- ①閲覧者が目的の情報にたどり着きやすいよう、複数の入り口を設けました。
- ②高齢者や障害のある方にも配慮し、現在開いているページまでの経路をリストにして表示するなど、誰もがよりわかりやすい作りになりました。
- ③地図やキッズコーナーなども作成し、いろいろな世代に閲覧していただけるよう配慮しました。
- ④より早く情報をページに載せることができるように、作成側も管理しやすいよう改善を行いました。

【大竹市ホームページアドレス(URL)】
http://www.city.otake.hiroshima.jp



大竹市ホームページ

男女共同参画推進事業

《担当：企画財政課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	400	0	0	300	100
17年度	19	0	0	0	19
18年度	7	0	0	0	7

性別に関わらず、市民誰もがお互いを認め合い、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を早期に実現するため、講座などによる啓発事業を実施しています。

【事業の実施状況】

平成18年度は、地域における市民活動の中心的役割を担う自治会女性部会員を対象に、男女共同参画についての理解を深めてもらうことを目的とした研修会を開催しました。

〔開催日〕平成19年3月8日

〔場 所〕大竹市役所

〔講 師〕財団法人広島県女性会議事業課長 山本 洋子 氏

〔テーマ〕男女共同参画の地域づくり

〔対 象〕大竹市自治会連合会女性部会員

コイ・こいフェスティバル補助事業

《担当：市民課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	2,700	0	0	0	2,700
17年度	2,500	0	0	0	2,500
18年度	2,650	0	0	0	2,650

市民のふれあいと市域の活性化を図るため、市民参加型の恒例イベントを支援することを目的として、「市民がつくる市民のまつり」として定着している「コイ・こいフェスティバル」に補助金を交付しました。

平成18年度は、スタンプラリーを導入し、単なる来場型のイベントから参加型のイベントへの転換を図りました。

●コイ・こいファスティバル

〔開催日〕平成18年11月11・12日

〔開催場所〕アゼリアホール、総合市民会館及び消防署

〔テーマ〕「祭10～大竹いいものさがし～」

〔入場者数〕11日：約350人 12日：約27,000人（主催者発表）

らんらんサポーター事業

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16年度	0	0	0	0	0
17年度	0	0	0	0	0
18年度	0	0	0	0	0

※ボランティアの協力による事業のため、事業費はゼロとなります。

「らんらんサポーター」は、仕事や趣味で得た知識・技術を持った方に登録していただき、ボランティア指導者として活躍していただいているもので、現在13の活動ジャンルに延べ68人が登録しており、学校や公民館で活躍しています。

平成18年度も、引き続き子ども会などさらに多くの団体やグループが行う活動を支援していくため、学校や公民館だけでなく、地域子ども教室や「おおたけっ子らんらんカレッジ事業」などの子どものための教室での指導にも活動を広げていき、学びを通じた交流の中から市民参画による「まちづくり」の輪を広げていくことに努めました。

平成19年度から始まる放課後こども教室のサポートに、より多くの協力が必要となる見込みであり、登録者拡大に努めていく必要があります。

【登録状況】

ジャンル	スポーツ	音楽	芸能	パソコン	ものづくり	園芸	写真
登録人数	8	5	4	4	13	3	2
ジャンル	料理	囲碁・将棋	茶道	書道	自然	その他	計
登録人数	7	11	2	1	2	6	68

※詳しい内容については、市ホームページに掲載しています。



市民活動パワーアップ講座実施事業
(昔なつかしの遊びコーナー)